



研究集会 令和五年度 第三回日本酒学セミナー

日本酒文化研究の

みちしるべ

—日本酒学の時空を広げる—

2023年10月14日(土)
13:00~17:00

2021年に「伝統的酒造り」が国の無形文化財に登録されたのち、2023年現在、ユネスコ無形文化遺産登録への提案が行われているように、日本の酒の〈伝統〉が注目を集めています。ただし、このような酒の〈伝統〉や〈歴史〉が語られるとき、多くはその製造・醸造技術に関する話題が中心となっているのではないのでしょうか。

しかし、日本の歴史の中で長く人々が酒と共にあり続けたのは、すぐれた製造技術のためだけではないでしょう。この研究集会では人文学と社会科学、いわゆる「文系」の研究者が、酒どころ・新潟に集い、製造技術だけにとどまらない酒の〈伝統〉や〈歴史〉、さらにその可能性を論じます。

プログラム

13:00	江戸の物語が描く日本酒文化 —趣旨説明をかねて—	畑 有紀 新潟大学 特任助教
13:25	仏教と酒、良寛の酒	石井 公成 駒澤大学 名誉教授
14:00	日本酒イノベーションを導いた室町社会	松永 和浩 大阪大学 准教授
14:50	中世寺社に探る日本酒テロワール	芳澤 元 明星大学 准教授
15:25	過去と現在（いま）を繋げる酒蔵研究	岸 保行 新潟大学 准教授
16:00	ラグジュアリー研究から見た日本酒の意味的価値	石塚 千賀子 新潟大学 准教授
16:35	コメント	猪瀬 千尋 金沢大学 准教授
16:50	閉会の辞にかえて	芳澤 元

会場

新潟大学医学部 有壬記念館
新潟市中央区旭町通1-757

アクセス

新潟駅 万代口よりタクシー 約10分
新潟交通バス「市役所前」より徒歩 約5分
※お車でのご来場はご遠慮ください。

参加費

無料

申込方法

右記 URLまたはQRコードよりお申込みください

申込締切

10月9日(月)

定員

120名

<https://forms.gle/bfwpbsL7TG5p7ioVA>



お問合せ 新潟大学日本酒学センター推進室

電話 025-262-7695

メール info@sake.nu.niigata-u.ac.jp

主催 新潟大学日本酒学センター

共催 明星大学人文学部日本文化学科

科研費 若手研究「近世期文芸における「食」の表象研究」

(20K12914、研究代表者 畑有紀)

